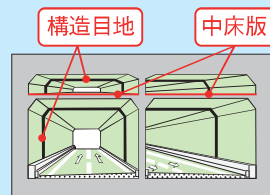


更新の必要性

- 首都高速1号線の羽田トンネルは、首都高初の海底トンネルであり、開通から60年以上が経過しています。
- 構造目地(継ぎ目)の止水性能の低下により海水を含む漏水が頻繁に発生しており、コンクリート躯体(中床版等)の鉄筋腐食やコンクリートのはく離などの塩害が急速に進行しています。
- 日々、点検・補修を行っているものの、トンネルの長期にわたる健全性を確保するため、中床版の再構築等の抜本的な対策が必要となっています。



羽田トンネルの断面イメージ



都市計画変更素案の概要

- 首都高速1号線の羽田トンネルの断面交通量は約9万台/日と多く、更新工事に伴う長期間の通行止めは社会的影響が大きいと考えられます。
- そのため、工事中は運用停止中の羽田トンネルバイパス路(羽田可動橋を含む)を活用してう回路を構築し、交通機能を確保しながらトンネル部の抜本的な対策を実施します。
- 更新後は、う回路を上り線(高架3車線化)として本線運用し、羽田トンネルは下り線専用として運用することで渋滞の緩和を図ります。
- この更新事業により、上り線の構造を一部変更することから、都市計画の変更手続きが必要となります。

変更概要

- 路線名
東京都市計画道路 都市高速道路第1号線
- 変更区間
東京都大田区東糀谷六丁目
～大田区昭和島一丁目
- 変更延長
約1.6km
- 車線数
(変更前) 4車線 ⇒ (変更後) 5車線

現況イメージ



更新後イメージ

